

# 第13期 砂防公開講座

## 第3回 ～「災害復旧事業と地すべり」～

2009. 9. 30  
参加者 15名

第3回砂防公開講座が開催されました。今回は過去の災害による被災現場や地すべり事業・砂防施設等を見学し、自然災害に対する対策事業について学びました。

### <見学コース>

①上野ダム→ ②野栗沢山腹工現場→ ③所ノ沢第四砂防堰堤→ ④譲原防災センター

#### ①上野ダム(神流川発電所)



神流川発電所を見学し、水力発電(揚水式発電)のしくみや限られたエネルギーの大切さを学びました。

#### ②野栗沢山腹工現場



平成19年9月の台風9号によって崩落した現場を、当時の写真と見比べながら、工事の概要や必要性について、武井所長に説明していただきました。

#### ③所ノ沢第四砂防堰堤



新しく建設されている所ノ沢第四砂防堰堤を見学し、災害時での砂防堰堤の効果や工事の工法などを学びました。

#### ④譲原防災センター



地すべり対策事業の方法や効果などについて学び、実際に集水井(しゅうすいせい)の見学を行いました。

### <アンケート結果>

・砂防についての考え方が変わり大変勉強になった。ありがとうございました。

- ・説明がきめ細かく、質問に色々と答えてくれて砂防ダムの目的が良くわかりました。
- ・譲原の防災センターでは、建物の見学だけでなく、地すべり対策の工事現場を見たかった。
- ・砂防施設の整備は、野栗沢のような災害が多い場所では国の直轄事業が望ましいと思った。
- ・個人ではなかなか行くことができない所を見学することができました。ありがとうございました。